



工大コレクション展示

フランク・ロイド・ライトの建築

~Falling Water~

フランク・ロイド・ライト(1867-1959年)は、アメリカ合衆国が生んだ20世紀を代表する建築の巨匠で、近代建築の三大巨匠のうちの1人である。1959年に亡くなる間際まで設計・建築の現場に立ち続け、「ロビー邸」「ジョンソン・ワックス社」「落水荘」「帝国ホテル」「自由学園明日館」「グッゲンハイム美術館」など400以上の作品を残している。ライトが手掛けた建築の大きな特徴は「自然と建築との融合」で、ここで取り上げた「Falling Water(落水荘)」は、アメリカのペンシルベニア州に位置するベアラン川にある滝の上に建てられている。緑豊かな峡谷の斜面に建てられたこれは、リビングに造られた階段から、直接水辺に降りることができるようになっており、「滝を眺めて過ごしたい」という施主の希望を取り入れ、滝を住宅の下に設置し音や雰囲気を感じられるものにした。

展示期間：2022.9.1(木) ~ 2023.2.28(火)

展示場所：図書館大宮本館(8号館)2階学術雑誌室

展示資料：『Drawings for a Living Architecture』